

遠賀郡消防本部 Q&A

Q 遠賀郡消防本部には何人の人が働いているのですか？

現在、118名の職員が働いています。



Q 消防車、救急車は何台あるのですか？

現在、消防車が11台救急車が4台あります。



Q 消防車はなぜ赤いのですか？

法律で朱色と決まっています。



Q 働く時間はどのくらいですか？

24時間の交替で働く職員と、平日に8時間働く職員に分かれています。



Q 仕事中、夜は寝ますか？

約3時間～4時間の仮眠をしています。



Q 仮眠の（寝る）時は何を着ているのですか？

いつ火事や救急があってもいいように昼間と同じ服を着ています。

Q 火事の原因は何が多いですか？

放火が一番多いですが、たき火、火遊びでの火事も多いです。



Q 火事がない時は何をしていますか？

火事を起こさないための仕事（火災予防）や、訓練などを行っています。



Q 女性の消防職員はいますか？

平成30年4月の時点で2名の女性職員がいます。
うち1名は指揮隊として現場で活躍中です。



Q 服の色はどのような分け方なのですか？

青い服は消防隊、オレンジの服は救助隊、白い服は救急隊です。



Q 道具の点検はだれが行うのですか？

いつ火事などが起こってもいいように毎日職員が点検しています。

Q 出動まで何分かかりますか？

出動指令が流れて1分程度で出動します。



Q 火事などの現場までどれくらいの時間がかかりますか？

消防署から遠い場所でも、だいたい7～8分で到着します。



Q 防火服の重さはどれくらいですか？

上着、ズボン、ヘルメット、ゴム長靴、手袋を合わせて約8kgくらいですが、火事などで空気呼吸器を背負うと全部で12kgくらいになります。



Q ホースの長さや重さはどれくらいですか？

ホース1本の長さは20メートル、重さは8kgです。



Q 火事の際に煙は吸わないのですか？

そのままだと煙を吸ってしまうので、空気呼吸器という資器材を使い、背負ったボンベの空気だけを吸うことで、煙を吸わないようにしています。



Q 火事の現場で水はどうやって手に入れるのですか？

道路などにある消火栓や防火水槽、川や池、海などから手に入れます。



Q 防火水槽にはどれくらい水が入っていますか？

ほとんどの防火水槽には40トン（4万リットル）の水が入っています。



Q 同時に何カ所も火事になったらどうするのですか？

その火事に出動していない消防隊や町の消防団で対応します。

それでも足りない場合は、北九州市や中間市などの消防署に応援してもらいます。

